# 2023 年度 第 2 回理事会 議事録 2023.7.20

日時: 2023年7月20日(木)19:00~21:34

開催方式:オンライン開催

場所:自宅または職場

出席理事:神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、吉本雅一(副会長)、奥原孝幸、望月強併、遠藤陵晃、

佐藤隼、澤口勇、山勢健太朗、青木啓一郎、佐々木秀一、野本義則、佐藤範明、神保洋平、金山桂、

和田尚(16名)

出席監事:錠内広之、野々垣睦美(2名)

欠席理事:玖島弘規(事務局長)、神田崇央(2名)

# I. 神保会長より挨拶

今月もよろしくお願い致します。

政治活動において協会が単体で動くのではなく、各県士会においても知名度を上げるような働きかけが必要となってくる。これから入学を控える方など育成にも携わり、作業療法を知ってもらうことが必要です。改めて皆様にもお願いしますが、我々の活動を知って頂く宣伝に1つ足を踏み込んでいけたらと思っています。もしそういった窓口があればどんどん教えてください。冒頭ですが、私からの挨拶として先日の協会の政治活動の背景で感じた部分を少し伝えさせてもらいました。本日の理事会はちょうど前半の半ばになります。我々の動きを作っていく大事な時期になってきますので皆様のご意見を頂ければと思いますのでよろしくお願いします。

#### Ⅱ. トピックス

1. 第19回神奈川県作業療法学会の進捗とインフォメーションについて(青木理事)

第 19 回神奈川県作業療法学会のプログラム完成。

項目は学会長講演、市民公開講座、教育講演、一般口述発表は59演題となっている。

現地開催プログラムは10月15日に茅ヶ崎文化会館で10時から行われる予定。

現地においては、学会長講演、市民公開講座、一般口述発表は現地で指定演題 5 演題、ビギナー発表 25 演題、特別講演 2 演題、シンポジウム、ワークショップはスプリント作成を予定している。

広報を通して積極的に参加者を集めていく。

(澤口理事) ブースが空いているので県士会で何かやらないかという案があったがどうなっているか。

(青木理事) 改めて確認し、理事メールで共有する。

(神保(洋)理事)以前の運営会議では県士会の中でイベントを行うという話はあったが現状、会議の中では議題が上がっていない状況。

(佐藤(隼)理事) 昨年度、前任の戸塚理事から、広報部と協力したブースを作るという話があった。

(青木理事) いつ頃そのような話 (ブースをどう活用していくか) が上がっていたかを確認させて下さい。

(神保会長) 12 月頃の話だったかと思う。現在、ブースの使い方に関しては検討を進めているかと思う。だいぶ話が固まってきているかと思うため何かこちらから提示するものがあれば青木理事・神保(洋)理事に情報提供をして頂きたい。

(佐々木理事) スプリントセミナーがあるが講師や共催する企業がついているか教えてもらいたい。

また学会の開催時間が10時開催の理由があるのか。

- (神保(洋)理事) 10 時開催の理由としては把握していないが集まりやすい時間帯を考えてかと思う。学会は 1 日開催のため時間を有意義に使う点で言うと、開始時間をもう少し早くするのも検討の余地がある かもしれない。
- (田中理事)会場を借りている時間帯や準備に時間がかかるなどの理由も開催時間に影響しているのではない かと思う。
- (神保(洋)理事) スプリントのワークショップは企業からオファーを頂いて行う。企業名や講師名はまだ把握 していない。
- (青木理事) また分かり次第、全体に周知させてもらう。
- (佐々木理事) 当日は講演をオンラインで全部聞けるのか。
- (青木理事) オンラインは教育講演が聞ける。
- (佐々木理事)借りている会場ごとにどこの部屋で何をやっているかなども記載してもらえると助かる。
- (神保(洋)理事)会場別でのタイムテーブルを現在作成中。

# Ⅲ. 報告事項(各部署・理事・三役)

#### 1. 事務局

- (1)神奈川県在宅医療推進協議会リハビリテーション部会の委員の推薦 →田中副会長を推薦
- (澤口理事)神奈川県在宅医療推進協議会がどういう位置付けなのかについての説明があった方が良いのではないか。
- (田中理事)編成があり2年前からこの名称になった。リハビリ専門職がどのような形で在宅医療を推進していけるかなどを医師や老健の長、リハビリテーション三団体協議会などが参加している。位置付けとしては三団体協議会が参加している推進協議会の大元の下部組織にリハビリテーション部会というものがある。PT 士会は露木副会長が出ている。地域リハの方にどのようにリハ職が関わっていくと有効なのかなど行政含めて相談していく会になっている。昨年は2月に行われ、今年は9月に行う予定。前回の委員会を受けて、現在、県が各市町村や病院にリハ職がどのように活躍してほしいかのアンケートを取っているため、その取りまとめを9月の部会で行われる予定。進捗についてはまたご報告させてもらう。

#### 2. 福利部

- (1)新入会員オリエンテーションについて
- ・IMS 横浜国際看護専門学校(2023.7.2)にて実施
- ・参加者 16 名、理事・監事 14 名の計 30 名であった。

今後の課題について、アナウンスが遅れて参加者がなかなか増えなかったため、次年度以降はアナウンスの時期を早めていきたい。懇親会は参加者が少なく、理事が中心になってしまったため、次年度以降は会の中での飲食を行うなど情報交換ができる時間を作り参加者同士の交流をより促進できればと思う。

- (神保会長) 広報を工夫できれば良いと思う。感染対策をすれば会の中で飲食をとる場面を設けるのも良いか と思う。
- (澤口理事)会員増ワーキングの際に分野ごとにできれば良いかという話もあった。事業計画の中で余裕があればオンラインなどでも参加できるようにしてみるのも良いかと思う。
- (山勢理事) 会員同士の交流を促進できるように進めていきたいと思う。
- (佐々木理事) 今後、ハイブリッド開催の検討も良いと思う。来年度の新入会員オリエンテーションに関しては2月、3月に早めにアナウンスできるよう準備していく。

### 3. エリア化推進委員会

(1) コネクトミーティングについて

テーマ「新人教育について」参加者 6 名、ブレイクアウトルームは 2 グループに分かれて約 40 分間実施。 語り合った内容は、「新人教育の悩み」「工夫して成功した例」について。最後に全体で共有しまとめを実施。 県内でなく県外の方や、OT だけではく様々な方が参加した。

今年度の新人はコロナ禍の影響で、リアルでの対人交流・コミュニケーションの機会が少なく、どのように人と話したり雑談したりしたらいいのかが分からず、自分の気持ちを伝えるのが苦手な若者が多い。指導者だけからの話しかける試みだけではなく、新人と指導者との緩衝材となってくれるようなメンバーが、話を聞き出したりすると、新人が話しやすく、より良く理解しあえるきっかけができるだろう。メンター的な存在が必要に感じる。

また、新人・2年目の若手は、養成校でMTDLPの事例報告の書式でペーパーペイシャントをまとめる演習をたくさん経験して来ている。教える側の3~4年目のOTRは、MTDLPを全く知らないケースが多い。病院・施設のOT部門内でMTDLPについての勉強会を開いて、教えるための知識の補充や準備を行う必要があり、困っている例が多いとのこと。その点について工夫をしている病院の例を教えていただいた。最後に、同じ指導方法でどの新人にも指導するのではなく、オーダーメイドでその新人に合った指導方法を導入していかれたらいいだろう、という締め括りで終えた。

- (2) 今年度のエリアミーティングについて
- 1)7月・横浜:7月27日(木)21時~22時・Zoom オンラインにて開催予定
- 2)8月:県央(厚木、海老名、座間、大和、綾瀬)8月27日(日)21時~22時で開催予定。

#### 4. 制度対策部

(1) 福祉用具班事業:福祉用具相談支援システム・生活行為工夫情報 < OT 協会本部の事業 > について 理事 ML で共有する

## 5. 地域リハビリテーション部

(1) リハビリ専門職等職能団体の地域リハビリテーション活動支援事業に関する調査 について

アンケートの途中経過を報告。

- ・厚生労働省から推進委員として今後、県の参考資料にするためにアンケートをとっている。 <アンケートの内容を紹介>
- ①団体の会員数と会員の所属機関種類別の人数
- ②区市町村別の OT 人数
- ③地域リハビリテーションの活動支援に参加しているか
- ④活動支援事業に参加する上で規定を作成しているか → 今後検討が必要。
- ⑤職能団体としてどのくらい関わっているか → OT 士会としては関われていないことが多い。
- ⑥職能団体の会員を地域に派遣するにあたり条件やルール設定に必要な課題や行政に求めることについて →求められている人材に対して人材を出すことは不足しているため課題となっている。
- →研修はコロナ禍で下火になっているため再度充実させていきたい
- ・各市町村が先立ってアンケートを実施している。市町村からはリハビリ専門職と連携を行う際の課題について、専門職人材の量的な不足、職能団体等との連携が挙がった。実例についても記載を行なっていく。
- ・アンケートに関して、理事・代議員の方へ送らせてもらったが、会員からのアンケート返答がとても少なく

期限が1週間延びている。協力をお願いしたい。

(2) 2023 年度第1回地域事業支援会議(旧地域支援事業への参画推進のための研修会)

47 都道府県から代表者が 5 名出る会議になっている。神奈川県作業療法士会からは西川班長、吉本副会長が選任者として参加。聴講者として佐藤(範)理事、望月理事、戸塚部員が参加した。

OT 協会は 23 年度で組織改編となり、地域振興部ができた。部の中の地域推進ケア班が今回の研修を担当。 よんぱち委員会と同じで 10 の県と同じブロックとなり一緒に事業を進めていく。グループワークを通して話 を進めた。グループワークの内容としては、地域事業に関する会員への情報発信について話し合った。

吉本副会長:情報発信について関東のグループの中では1つの県だけ会員の隅々まで情報が届いているとのことであった。神奈川としては、会員の隅々まで情報が届くように今後も進めていきたい。

(3) OT 協会地域包括ケア推進班 B ブロック会議

佐藤(隼)理事より

2023 年 7 月 5 日に開催。普段よりも多くの人数で議論した。各県士会での OT の地域事業への参画実態調査を協会としてやっていきたいというアナウンスが冒頭にあった。近日、各士会の事務局に依頼が掛かってくる予定であるため回答については神奈川の担当者で行なっていく。

他には会議で各士会での地域リハ人材育成研修会の実情を共有、士会員に対して情報をどう発信していくかが 議論になった。東京・神奈川県士会については会員数も多く、大都市型であり情報の伝達方法を検討していき たいと OT 協会の担当者からも話があった。

(神保会長)会議を通じて何を得たのか、次のステップに進むために我々が何をしたら良いのかを共有できた らと良いと思う。

### 6. 公益法人化対策委員会

- (1) 神奈川県作業療法士会の公益法人化に関するアンケート結果について 理事 18 名に対して 16 名の回答があった。
- ・公益法人化に肯定的な理事は37.5%、否定的な理事は62.5%だった。
- ・公益法人化が、県士会に良い影響をもたらすと考える理事は93.8%、県士会の目的に有益と考える理事は75%、県士会の目的達成に必須と考える理事は37.5%だった。
- ・一般的に言われている「公益法人化のメリット」について、52.5%の理事が肯定的、「公益法人化のデメリット」については90.6%の理事が肯定的だった。

今後のスケジュール:今年度中に方向を決定することを目標とする。

メリットおよびデメリットの具体的検証(2023年9月末)

資金繰りを含む管理体制の対応可否の確認(2023年12月末)

上記内容を基に理事会にて、公益法人化への方向性を決定する(2024年2月末)

2024年度総会にて報告

(澤口理事)アンケート結果で職場属性や背景がわかるとよいと考えるがどうか。

(野本理事) 16名の回収率では効果的な結果は得られないと考える。

今回のアンケートは理事の考え、意見を得ることを目的としたため、今後機会があれば様々な方の意見を得ることも考える。しかしながらまずは理事で考えていくことが重要と考え、理事にアンケートを取らせてもらった。

(澤口理事) 他の理事はどう考えているか。

(奥原理事) 理事へのアンケートということで、理事の職場所属や背景がアンケート結果に影響を及ぼす 可能性は低いと思われる。 (野本理事) 今後このような意見を集めていくことが具体的なところと考える。

公益化でないが故に県士会が不利益を受ける事柄がでてくるのであれば、即時に公益化しなければならないと考える。具体的なメリットが本当にあるのかを事実として情報をあげていく必要がある。

# 7. その他部署からの報告

(1) 選挙関連検討会議(仮名称)について

今年度代議員の選挙やまた三役等の検討もあり、選挙管理委員長を招いて現状の規約・マニュアルに基づいて選挙を進めていったが、今回どうだったのかアンケートを取る予定。

また選挙ワーキングメンバーについても一般社団法人法に基づいて選定する必要性があるため、今後検討していく。

(2) 規約委員会

X ドライブにある規約マニュアル集フォルダーに最新バージョンの関連資料をアップしている。 昨年末に規定などを変更しているため、必ずご確認頂きたい。

# 【理事・三役】

# 1. 佐藤(隼)理事

- (1)公益社団法人『認知症の人と家族の会』からの調査研究報告書・ガイドブック情報提供について OT協会理事が関わっている「令和4年度老人保健健康増進等事業:中等度・重度認知症の人の在宅生活継続 に関する調査研究」の報告書ならびに「認知症の人と家族の暮らしを支える手引き」が県士会事務局に送付さ れた。調査報告書にはご家族からリアルな声が聞かれ、また作業療法士が認知症患者様と関わる上での実例 が記されているため、現場の職員へ情報共有していただきたい。
- (2) 『令和5年度世界アルツハイマーデーかながわ』イベント案内について(神奈川県) 2023年9月30日開催予定。佐藤理事が個人的に参加しているが今後作業療法士会として参加していけたら と考える。興味のある方は参加していただきたい。

# 2. 佐藤(範)理事

(1)県士会サイト 各部署紹介 2023 年度計画・活動内容 掲載に関して ウェブサイト「活動内容の紹介」「2023 年度活動計画」「構成部員・委員」「担当理事からの一言」の更新をお 願いしたい。締め切り: 2023 年7月末まで。

#### 3. 澤口理事

(1) リハ手帳(仮称) POS 合同会議 進捗について

モニタリング募集案内のため、リハビリ手帳<初案> (サンプル)を POS 全各会員施設に 2 部配布。

- 6月中旬に県内 1416 施設にサンプル発送(不達施設数:31 施設)。
- 6月29日現在、アンケート回答27施設(モニタリング協力施設13施設)。
- OT は PT にはない領域も広いため、積極的な参画をお願いしたい。

#### 4. 吉本理事

(1) 令和6年度神奈川県計画に位置づける「介護従事者の確保に関する事業」のアイデア募集について「地域包括支援センターへの作業療法士の配置」について、回答フォーマット作成済み。内容を確認してい

ただき、県へ提出する予定。

### IV. 審議事項

- 1. 部員承認(一括承認)(事務局)
  - →賛成多数で承認
- 2. 部員の退任 (広報部)

矢野智恵美氏(えびなファミリークリニック ソラーレ)

→賛成多数で承認

### V. 提案事項(各部署・理事・三役)

- 1. 県士会情報共有ツールについて(X ドライブへのアーカイブコーナーの増設の提案に対して)(事務局) 様々なツールはあるが、理事会に適した形で運用できるか、セキュリティ問題、容量問題などをまずは事務 局で情報収集していく。何か情報をお持ちの理事は玖島事務局長までお知らせいただきたい。
- 2. 第 20 回神奈川県作業療法学会の学会長の選出について(学会評議委員会) 三役を中心に学会長の推薦、9 月末に選出、10 月の学会でご挨拶の予定。
- 3. 当会の謝金規定に関する理事へのアンケートについて(田中副会長) 謝金についてのアンケート結果はベースアップを中心に様々な意見が伺えた。今後、財務部理事の協力を仰 ぎながら見込みを立てていく予定。
  - 9月の理事会にて次年度事業について考える時間を設け、謝金を意識して予算を立てる予定。
- 4. 9月度理事会開催に向けて(田中副会長)

今年度の事業計画・評価の中間評価と次年度に向けた課題を全理事に意見を伺い検討していく。

理事会の進め方は二部構成を予定。一部:通常の理事会、二部:事業計画について。

8月は理事会を開催しないが、三役会は8月も実施予定のため、至急検討しなければいけない事項があれば 三役まで連絡をいただきたい。

(金山理事) 緊急で審議したい事項のみを通常のフォーマットで報告するという認識でよろしいか

(吉本理事)8月理事会は開催しないが、通常のフォーマットで報告。至急で審議しなければいけない事項かはこちらで判断する。

(金山理事)審議事項や報告事項は通常どおり8月の議事録として情報共有されるのか。

(吉本理事)8月の理事会は開催しないため、議事録は作成しない。9月に再度情報共有するため審議・報告事項の取捨選択をしていただきたい。

### VI. 【県士会4ヶ年計画・組織改編について】(神保会長)

1. 県士会4ヶ年計画について

会長挨拶、2021-2022 年度の県士会事業の達成状況、成長する県士会 4 カ年計画、課題共有の流れでスライドを作成した。また 2024 年度新組織体制へ移行していく。法人管理運営部門+公益管理事業部門→機能分化型。成長戦略は生産性、独創性、協調性をキーワードに 100 年先の作業療法の未来を創るために進めていく。上記内容で県士会ホームページへ掲載する予定。

#### 2. 組織改編について

現在組織改編に向けたスケジュール表を作成中。三役会で確認次第、全理事へ発信していく。 今年は準備、下期で組織改編を念頭におきながら次年度の予算を立案していく。

### VII. 【その他連絡事項】

制度対策部 澤口理事より

・災害対策シミュレーションを9月25日に開催予定。詳細は追って配信する。

#### 田中理事より

・神奈川県作業療法士理事の LINE メーリングリストを作成予定。

#### 広報部 金山理事より

・今年から送付回数を増やすように取り組んでおり、10月号223号も送付号になる。ご活用いただきたいので、記事等あれば金山理事までご連絡いただきたい。

#### 田中理事より

- ・前回理事会でお知らせしたロゴマークが入った封筒と名刺の発注を開始。順次全理事へ送付予定。
- ・都道府県作業療法士会 48 団体協議会が 9/9、9/10 に対面開催予定 参加できる理事は田中理事まで

#### エリア推進委員会 和田理事より

・横浜エリアミーティング7月27日(木)21時~22時・Zoomオンラインにて開催予定。

#### 神保会長より

・協会より個人情報取り扱いの覚書が届いている。今後Xドライブなどでの共有を検討。 原本は事務局で保管予定。

### 澤口理事より

・OT 協会より「障害者への虐待」についての声明が出ていると思うが、神奈川県での対応は検討しているか 吉本理事:現在内容を確認中であり、少し時間をいただき検討する。

## Ⅷ.【監事より】

野々垣監事: 新理事体制となり新たな切り口で議論が進んでいた。今後も様々な視点で進めていってもらいたい。 錠内監事:継続理事においては、発言内容を端的に理事会がスムーズに進行するようお願いしたい。

また新理事においては自部署だけでなく他部署のことにも関心をもって発言をしていっていただき たい。 議事録署名人 議長: 神保 武則 印

理事: 佐々木 秀一 印

理事: 青木 啓一郎 印

監事: 錠内 広之 印